# 平成24年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) **提案機関名** 神奈川県農業協同組合中央会 095

#### 要望問題名

茶における放射性セシウムの植物体内への集積メカニズムの解明と対策

# 要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】

東京電力福島第一原子力発電所の事故に由来する放射性セシウムが県内産の茶(生茶)から暫定規制値を上回った値で検出された。

このため、①23年度産一番茶で検出に至ったメカニズムの解明。②土壌残留放射性セシウム量と植物体(生茶収穫部位)集積の関係。③翌年度以降の生産に向けた技術的な対応策(化学的、物理的)。など土壌から植物体まで総合的な試験を実施し、結果を生産者に示す必要があると考えられるので要望する。

**解決希望年限** ①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内

対応を希望す ①農業技術センター ②畜産技術所 ③水産技術センター

る研究機関名 □ ④自然環境保全センター

備考

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

| 世当部所 | 上当部所 | 上担当部所 | 上相地区事務所研究課 |

対応区分

①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可

# 試験研究課題名 (①、②、④の場合)

- 1. 茶園における放射性セシウムの動態解明と対策技術の開発
- (1) 茶樹における放射性セシウムの動態解明
- (2) 茶園土壌における放射性セシウム対策技術の開発と経済的損失の推定

#### 対応の内容等

研究内容として、以下の課題を実施しています。

- ① 樹体部位別の放射性セシウムの量的解析
- ② ほ場内における十壌中の放射性セシウム含量の分布
- ③ 安定同位体セシウムを用いた茶樹体内におけるセシウムの移行経路の解明
- ④ 被ばく茶樹における摘採時期別の放射性セシウム濃度の経時変化の把握
- ⑤ 茶園土壌の放射性セシウム吸着技術の確立

これらの結果から、茶樹体内における放射性セシウムの動態並びに、茶葉に蓄積された放射性セシウムの経時変化を明らかにするとともに、茶園土壌中の放射セシウムを効果的に除染できる技術を開発します。得られた知見については、普及部門が実施する講習会等を通じて、生産者の皆さまへ随時提供いたします。

**解決予定年限** ①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内

備考